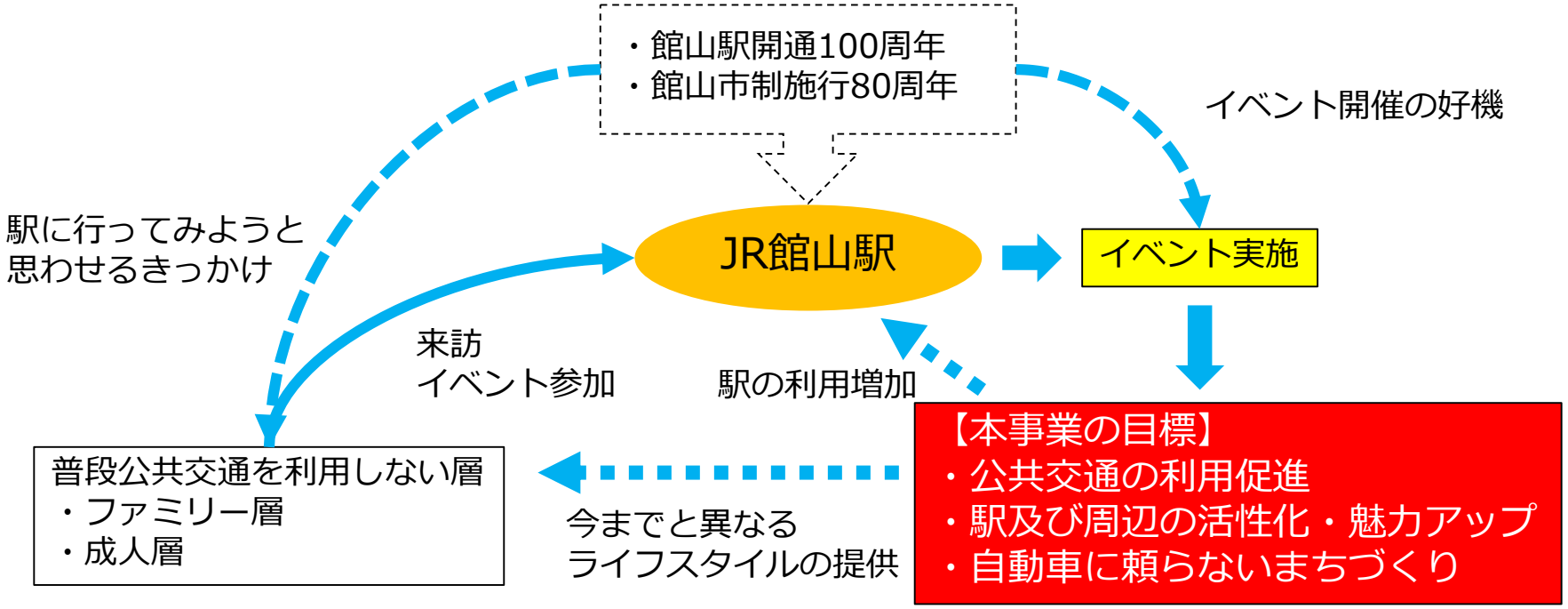
1．事業の目的・趣旨

- 館山駅開通100周年・市制施行80周年という節目の年に相応しい行事を実施することで、**駅の大切さを今一度見つめなおす機会を創出**する。
- 普段公共交通を利用しない層（**特にファミリー層**）に対し、公共交通に親しんでもらい、**公共交通利用の動機づけ**を与える。
- **駅周辺の活性化・魅力アップ**を目指していく。
- 地域公共交通網形成計画策定に向け、**交通事業者との連携を強化**する。



3．行政側で実施する事業に関し期待する効果

市民参加 →
- 駅（公共交通）に対する興味関心の醸成
- 駅の活性化について「わが事」として捉える意識の醸成

子どもの参加 →
- 幼少期から、駅や駅周辺の良さを知ってもらい、将来的に利用するきっかけを作る

駅周辺活性化 →
- 駅周辺に足を運んでもらう環境づくり
- バイパス沿いの大型店舗とは違う魅力に気づいてもらう

クルマに頼らないまちづくり →
- 自転車を気軽に利用し、観光から日常の買物まで使える環境を整備する

以下は、副次的な効果・理想

公共交通利用促進 →
- 鉄道やバスに乗る楽しみに気づき（思い出し）、公共交通を（再び）利用する契機とする

事業者との連携強化 →
- 交通事業者や商店街事業者との連携を深める